

7/23  
朝日

## 診療所の報酬2割減

### 5月の経営状況 4月より悪化

日本医師会は22日、病院や診療所の2020年3～5月期の経営状況を発表した。新型コロナウイルスの影響による受診控えで患者数が月を追うごとに減り、5月は収入となる診療報酬が診療所で2割減となるなど、大幅な減収に見舞われた。

調査は全国693の病院と診療所が回答した。

診療報酬を算出する点数でみると、病院は3月が前年同月比5・7%増だったのに對し、4月が6・3%減、5月が11・6%減。診療所も3月が同10・7%減、4月が同18・6%減、5月が同20・2%減と、外

来患者が減るにつれて減収幅が拡大した。3～5月期の診療所の診療科別では耳鼻咽喉科が前年同期比33・5%減、小児科が同35・8%減と落ち込みが顕著だった。

各種の健診や予防接種の実施者数も、約半数以上の医療機関が「前年より減った」と回答しているという。日医の中川俊男会長はこの日の会見で「このままではすべての医療機関の経営が破綻してしまう」と危機感を示した。（山本恭介）